

ゆらの通信

Vol.23
平成28年4月

4月の由良野の森は花の季節。9日と10日は桜と共に何種類もの花を楽しみながら、羊の毛刈りを行いました。翌日にはシジュウカラが羊毛の屑を啜って飛んでいきます。野鳥は巣作りが忙しそう。ワラビやタラの芽、ウドと山菜木の芽も食べごろ。大雪で厳しかった冬が嘘のよう。今は桑の花やアケビにグミ・ブルーベリーも花咲かせて虫の羽音もにぎやかになりました。春、エネルギーの強さに圧倒されます。



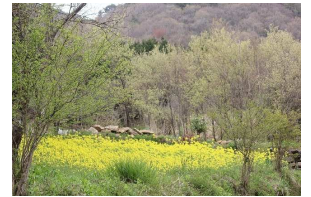
桑の花



五葉アケビ



ブルーベリー



菜の花

2015年 9月 羊のリキの鼻に何かできている？

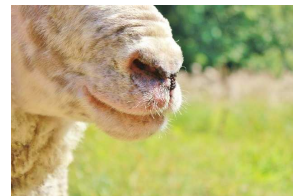
9月26日羊小屋に行くとリキの鼻の下に発疹があり、爛れているのに気付いたので、いつもお世話になっている松山家畜診療所の佐々木先生に相談しました。そこで羊に詳しいとベ動物園の熊岡先生を紹介していただきました。虫刺されの様にも見えるが一応隔離して様子を見るよう指示があったので、1週間ほど様子を見ていた所、徐々によくなりました。動物病院では家畜を見てもらえない為、何かあったらと不安があります。家畜診療所さんや動物園の先生のご厚意に本当に感謝致します。



9月26日



9月29日



10月6日

※山羊・羊・ニワトリは愛玩動物ではなく家畜のため、一般の動物病院で診て頂くのはなかなか難しい。

2015年10月18日 「なぜ久万を選んだのか」 移住者の話をききたい！

ゲストハウスにて「なぜ久万を選んだのか移住者の話を聞きたい」ということでシンポジウムが行われました。「愛媛教育関係者9条の会」の方々のリクエストで行われたもので、お話しいただいた移住者は全て「ゆらの」の会員の皆さんです。それぞれのストーリーは非常に中身が濃く、本音の正直なお話は聞く人の心を強く刺激します。普段交流のきっかけが無い人たちが、話を共有し理解しようと試みるのはとても自然で心地の良いものでした。「生活の不便さから田舎を離れる人がいる中、何故？」という疑問にそれぞれの生き方や考え方を話すこと」が答えというのが印象的でした。



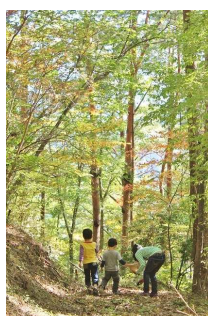
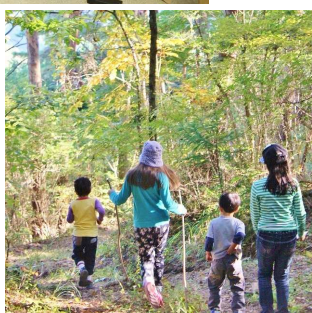
地元の食材を使ったそれぞれの方の手料理に「あたりまえ」が「貴重」と再発見して頂けたかもしれませんね

2015年10月25日 コウモリの巣箱づくり

由良野の森にコウモリを増やし観察したいと思い、巣箱（正確には休憩所）づくりを行いました。親子連れでたくさん参加いただき、5つの巣箱が出来ました。板を組み立て、釘を打って作った巣箱。板が厚かったのでかなり苦戦しましたがコウモリたちは気に入ってくれるでしょうか？由良野川近くに設置しました。糞の有無の観察をしていきます。巣箱は今後も少しずつ増やしていく予定です。そして午後からはみんなで雑木山へ出発。子どもも大人も森に溶け込む時間です。



※工房の屋根裏から出入りしているコウモリを目撃しています



2015年10月31日 工房前さしかけ工事

屋外に屋根のあるスペースがあればいいなと思っていました。工房の壁を張り替えた時から準備をしていたのですが、やっと工事に取り掛かりました。



2016年4月現在は完成しています

2015年11月1日 GO!!トレイル

里山づくりをしている会「ゆらの」。整備が進んでいる杉・ヒノキ林や雑木林はですが、きっかけが無いとなかなか隅々までは歩かないものです。そこで、森の小道を行ってみよう!!ということで、参加者みんなであちこち歩きました。秋のさわやかな空気に包まれて森の天辺までの深呼吸です。



子どもを背負ってのつわものも！

歩く速さだと、足元の小さな花にも気が付きます

2015年11月22日 ツリークライミング体験会

ゆらの会員でツリークライミング協会公認ファシリテーターの福島さん指導の下、体験会が行われました。小学生～大人まで初体験にトライ。準備体操と器具の説明、ロープの使い方や名称の講義の後、クライミングは始まりました。木から釣り下がる奇妙な感覚に慣れるのに時間がかかり、ちょっと気を抜くとくるりと回転したりします。が、みんな少しずつ上達しどんどん上へ。普段決して体験できない位置からの風景は感動です。挑戦しないと味わえません!! 次回はぜひ皆さんも!!

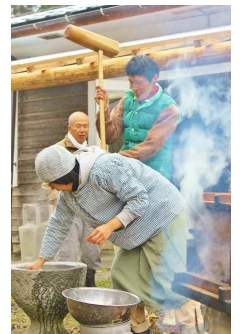
始まりです
しっかりと話を聞くから



子どもにも安全な方法です

2015年12月6日 会員交流お餅搗き

毎年恒例の交流お餅つきです。何とか天気に恵まれ開催できました。会員の皆さんが寒い中お越しくださいました。全員参加のお餅つきは、すべての人に役割ができて、またそのお餅のうまさを共有できる感動的な行事です。とても素敵な会員交流になるので毎年やっていこうと思っています。



コツがいる初めの作業は
ベテランが

2015年12月17日 ヤギのミミコさようなら

夕方山羊小屋に行くときメス山羊のミミコが倒れていました。2010年の6月に由良野に3歳でやってきたミミコは8歳。毎年たくさん子ヤギを産み、ミルクを頂いてきました。非常に賢く、気が強いのでジャジャ山羊ミミコと呼んでいました。少し前から体調を崩し、納豆を食べて元気を取り戻していたけど…。雪で寒いので藁敷き、毛布を掛けてあげ。苦しんでいるというより衰弱している感じなのでそっとして見送ることにしました。1時間おきに様子を見に行き様子をまましたが、翌朝息を引き取りました。穏やかな顔をしていました。



2010年6月に森にやってきたミミコ
会員の大堀さんから頂きました。



雪が積もる寒い中
旅立ちました。

心配そうに見守る
オジョウと。

2015年12月22日 2016年1月12日 水道管理設

工房に向けて水道管を埋設しました。何とか年内雪が降る前に少しでも工事を進めたいと思い12月22日に埋設しましたが、翌日から天候が崩れ、翌年1月12日雪が融けてから残りを埋めました。由良野の森は未殺菌の山水を利用していますが、水道工事が終わると工房で殺菌済みの水も利用できるようになります。



12月22日



1月12日

2015年12月24日 29日 メス山羊オジョウ

群れで暮らし1頭になるのを嫌う山羊。今まで1頭になると不安がって仲間を探し鳴き続けていたオジョウ。ミミコが逝ってからは1頭で飼うのは難しいと思っていましたが、全然平気のようです。想定外。29日には発情が来ました。地元久万高原では唯一、東明神の方が雄山羊を飼っておられると聞いて、急いで種付けをお願いに行きました。お相手は名前のない雄山羊でかなり小柄です。というより、オジョウがザーネン種で大きいのですが…。さて、うまくいったのでしょうか？山羊の妊娠期間は約150日ということですので。5月27日頃ですね。

12月24日夕日を浴びて



12月29日種付け

2016年1月 積雪

1月はたくさん雪が降ったので。ずっと除雪をしていました。最初の積雪は深く学校もお休み。除雪が入るのが期待できなかったのととりあえずミニコンボで1.7^号の由良野道を除雪しました。氷点下で体を動かさず何時間もコンボに乗ると体の芯から冷えます。対照的に雪ハネを使った除雪は氷点下でも天気が良ければTシャツ1枚ですが、面積が広いのでへとへとになります。特に動物を飼っていると雪国の皆さんの苦勞が少しですが感じられます。



1月14日 ミニコンボで除雪



1月19日 降り続く雪



1月20日 雪ハネで除雪



1月21日 動物たちもホットー息



1月24日 降り続く雪とつらら

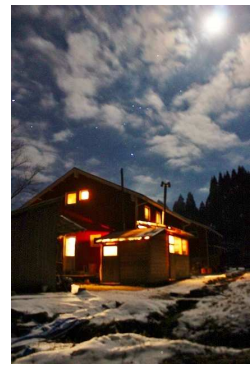


1月25日 積もって縮んで凍っての繰り返し
ゲストハウス前も雪に埋まってしまいました。



2016年2月17日 由良野の森 雪の月夜

雪が残る由良野の森。月夜はとても美しく、オリオン座もくっきり見えます。皆さんにもその雰囲気を少しだけ写真でお伝えします。



月夜、雪に映えてライトもいら
ないくらい明るい

2016年2月22日 イノシシ猟

昨年狩猟免許をとりました。ゆらの活動が始まった頃からイノシシの土地を掘り起こす「働き」はすさまじかったですが、整備がすすんでくると「働き」ではなく「被害」に感じてきます。そして今では地産地消のありがたい「糧」に。縄文時代から続く自然と人の相互依存と共生関係の姿が蘇ってきます。地元の漁師さんに教えてもらい「さばく」こともできるようになりました。



2016年3月21日(月・振) 松林の手入れ

昨年秋に引き続き行った松林の手入れ。梅が満開のなか、松林に向かいます。草や低木の葉が無い状態だったので割と楽なはずですが、斜面がきついので少し大変でした。赤ちゃんを背負ってのお母さんの参加もあり、皆のやる気も上がります。午後はたき火でパンを焼き、暖をとりながらまったりと過ごしました。



梅が満開



クロモジ(香木)の幼木もたくさんありました



仕事の後のパンは格別!

2016年3月28日 ナメコの菌打ち体験

27日(日)に予定していたこの体験には、たくさんの方が参加申し込みいただいていた。しかし冬のように寒い朝に降雨があり、開催時刻の降水確率は100%とあったため、残念でしたが翌日に順延しました。28日は平日の開催でしたが、春休み中の小学生たちが参加してくれました。まず、除伐予定のヒノキを伐るところから。今回は根切りオノとのかぎりを使い木を倒します。切った木を1メートルのたま切にし、山から運び降ろします。ドリルで穴を空け、木槌で種菌を打ち込みます。そして林床に並べます。初めての体験を参加者みんなで頑張ってやり遂げました。



オノで木を伐る体験もしました



ノコギリを使って伐る

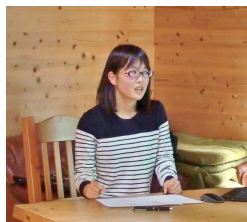


菌打ち作業する小学生たち



2016年4月3日 ウガンダ報告「ウガンダで見たこと聞いたこと」

小学校の低学年の頃から「ゆらの」の活動に参加していた森林博士2名（共に17才）が、高校のフィールドワークでアフリカ ウガンダへへ行きました。高校生の感性で見たこと聞いたことの報告をしていただきました。中村香奈さんは現地のインフラ整備について詳しく報告してもらい、鷲野天音さんには持続可能なライフスタイルと支援について話してもらいました。



参加者からは2人にいろんな質問も出ました。

パワーポイントや動画も使いアフリカで見たことや考えを話してくれました。

「いかに日本で暮らすことがインフラ面や教育面で恵まれているか感じた」と香奈さん。

「先進国のおしつけにならないため、現地の人の思いを知ったり、本当を見るのが大切だと感じた」と天音さん。

ウガンダのマーケット

2016年4月9日・10日 羊の毛刈り体験&羊毛フェルトワークショップ

桜が満開、木々の花も咲き乱れる中、今年も行われた羊の毛刈り体験。羊毛フェルト作家のsusuさんの協力を得てフェルトのワークショップも行われました。1日に2頭ずつハサミで刈るのは時間がかかりますが、未就学児でも体験できます。羊たちも毎年慣れているので、後半は寝てしまって刈り終わってもなかなか起きません。毛刈りのほかに羊毛のカーディング（梳綿）や糸紡ぎも同時に行いました。森の草で生き、毛や堆肥を得る羊の飼養と糸作りは、家畜と人の生活を通して循環します。そして森を訪れる方と共に「持続可能な発展への気付き」を促す学習になることを期待しています。



フェルトでコースターを

糸紡ぎ



小学4年生
プロ並みになった



工房ワークエリア



ハサミ使いが上手でした



去年の羊毛をカーディング

無償貸与・協力・プロボランティア

2015年11月町道由良野線山腹崩壊の兆候があったため、ゆらの会員の瀬戸電設松田さんから停電に備え発電機3台を無償貸与していただきました。また、12月6日には薪小屋のセンサーライト・コンセント設置及び配線は無償で行っていただきました。薪小屋にライトが設置されたことで、ゲストハウス利用者が冬季夜間ライトなしで小屋から薪をとることが出来るようになりました。2016年1月埼玉県のK・Tさんによりプロボランティアで由良野の森のホームページをリニューアルしていただきました。2016年4月地元の速水さんより、茅を粉碎する機械を無償貸与して頂いています。



茅の粉碎機



薪小屋センサーライト・コンセント工事



ホームページリニューアル